

第4回地域福祉計画推進委員会（令和2年2月14日開催）における  
骨子案の意見に対する回答

	意見	回答
1	第2章 3 統計データにみる本市の状況について、全国のデータと比べることはできないか。	国と市の統計データで単純に比較できない側面もあるため、現状のままとしている。
2	第2章3(2)に「⑦認知症の人」の項目があるが、認知症の人の推移を出すのは難しいのではないか。	担当部署に確認したところ、御意見のとおり、難しいとの回答だった。この代わりに、認知症カフェの数やサービスの利用状況等、認知症に関連するものの推移が分かるものを加えたいと考えている。
3	第2章 4 本市における地域活動の状況について、青少年対策委員会について記載して欲しい。	この項目では、基本的に、属性に応じて様々な活動を行っている団体について記載しているため、青少年対策委員会について記載することは難しい。
4	第3章 1 (仮)基本理念「いのちとくらしを守り、一人ひとりが輝くまちづくり」では、地域共生社会をイメージさせることは難しいのではないか。また、行政は予防的役割という要素が薄いのではないか。	御意見を踏まえて、計画案を策定する中で基本理念の検討をすすめていく。資料27の53ページにおいて、基本目標の説明を地域の方が主体であることを強調して書き直したので、御確認いただきたい。
5	吹田版の福祉総合相談窓口のようなものを作ってみてはどうか。	総合的な相談窓口の設置も包括的な支援に関する方策の1つと考えられるが、本市としては、関係機関等との連携強化を図ることが課題と捉えている。既存の様々なネットワークの連携強化など、地域、関係団体、関係機関、行政の連携・協働が推進されるような体制を構築する必要があると考えている。